

1. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。
 式の中の文字を数でおきかえることを、文字にその数を（① 代入）するという。（①）して計算した結果を、そのときの（② 式の値）という。
 文字をふくむ項の数の部分を（③ 係数）という。
 文字が1つだけの項を（④ 1次の項）という。
 （③）だけか、（④）と数の項の和で表される式を、（⑤ 1次式）という。

2. 次の問いに答えなさい
 - （1）底辺が a cm、高さが h cmの三角形の面積を求めなさい。

$$\frac{ah}{2}(\text{cm}^2)$$
 - （2）半径が r cmの円の①周の長さと②面積を求めなさい。
 ① $2\pi r$ (cm) ② πr^2 (cm^2)
 - （3）縦が a cm、横 b cmの長方形の周の長さを求めなさい。
 $2a + 2b$ (cm)

3. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。
 等しい数量を、等号でつないだ式を（① 等式）という。
 （①）で、等号の左側の式を（② 左辺）、右側の式を（③ 右辺）、その両方を合わせて（④ 両辺）という。
 数量の大小関係を不等号を使って表した式を（ 不等式 ）という。

4. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。
 式の文字に代入する値によって成り立ったり、成り立たなかったりする等式を（① 方程式）という。また、成り立たせる文字の値を、方程式の（② 解）という。

5. 次の（ ）にあてはまることばや式を書きなさい。
 - （1）いろいろな値をとる文字を（① 変数）といい、一定の数やそれを表す文字を（② 定数）という。
 - （2）ともなって変わる2つの変数 x, y があって、 x の値を決めると、それに対応する y の値がただ1つ決まるとき、 y は（③ x の関数）であるという。

1. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。
式の中の文字を数でおきかえることを、文字にその数を（① ）するといふ。①として計算した結果を、そのときの（② ）といふ。
文字をふくむ項の数の部分を（③ ）といふ。
文字が1つだけの項を（④ ）といふ。
③だけか、④と数の項の和で表される式を、⑤ ）といふ。

2. 次の問いに答えなさい

- (1) 底辺が a cm, 高さが h cmの三角形の面積を求めなさい。

(cm^2)

- (2) 半径が r cmの円の①周の長さと②面積を求めなさい。

① (cm) ② (cm^2)

- (3) 縦が a cm, 横 b cmの長方形の周の長さを求めなさい。

(cm)

3. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

等しい数量を、等号でつないだ式を（① ）といふ。

①で、等号の左側の式を（② ）、右側の式を（③ ）、その両方を合わせて（④ ）といふ。

数量の大小関係を不等号を使って表した式を（ ）といふ。

4. 次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

式の文字に代入する値によって成り立ったり、成り立たなかったりする等式を（① ）といふ。また、成り立たせる文字の値を、方程式の（② ）といふ。

5. 次の（ ）にあてはまることばや式を書きなさい。

- (1) いろいろな値をとる文字を（① ）といひ、一定の数やそれを表す文字を（② ）といふ。

- (2) ともなって変わる2つの変数 x, y があつて、 x の値を決めると、それに対応する y の値がただ1つ決まるとき、 y は③)であるといふ。

(3) 変数のとる値の範囲を, その変数の (④ 変域) という。

(4) ともなって変わる変数 x, y があり, その関係が (⑤ $y = ax$) という式で表されるとき, に比例するという。比例の式の中の文字 a はでない定数であり, (⑥ 比例定数) という。

(5) 平面上の点の位置を表すとき, 点 O で交わる2つの数直線を考える。このとき, 横の数直線を (⑦ x 軸) , 縦の数直線を (⑧ y 軸) 両方の数直線を合わせて (⑨ 座標軸) , 点を (⑩ 原点) という。

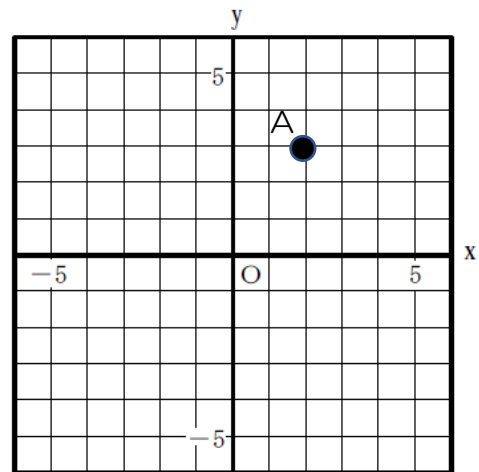
右の図で, 点 A の位置は $A(2, 3)$

と表す。このとき, 2を点 A の

(⑪ x 座標) , 3を点 A の

(⑫ y 座標) , $(2, 3)$ を

点 A の (⑬ 座標) という。



(6) ともなって変わる変数 x, y があり, その関係が (⑭ $y = \frac{a}{x}$) という式で表されるとき, x は y に反比例するという。反比例の式の中の文字 a は0でない定数であり, (⑮ 比例定数) という。

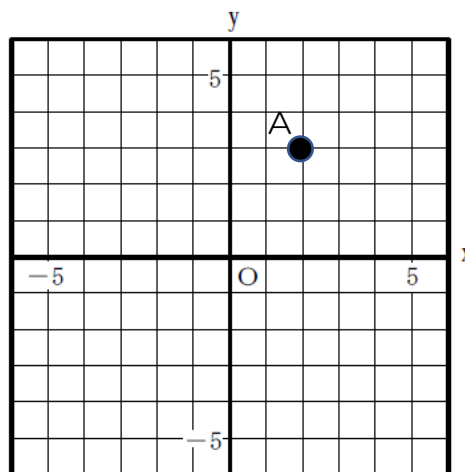
(7) 反比例 $y = \frac{a}{x}$ のグラフは, 2つの曲線になり, この曲線を (⑯ 双曲線) という。

(3) 変数のとる値の範囲を, その変数の (4)) という。

(4) ともなって変わる変数 x, y があり, その関係が (5)) という式で表されるとき, に比例するという。比例の式の中の文字 a はでない定数であり, (6)) という。

(5) 平面上の点の位置を表すとき, 点 O で交わる2つの数直線を考える。このとき, 横の数直線を (7)), 縦の数直線を (8)) 両方の数直線を合わせて (9)), 点を (10)) という。

右の図で, 点 A の位置は $A(2, 3)$ と表す。このとき, 2を点 A の (11)), 3を点 A の (12)), $(2, 3)$ を点 A の (13)) という。



(6) ともなって変わる変数 x, y があり, その関係が (14)) という式で表されるとき, x は y に反比例するという。反比例の式の中の文字 a は0でない定数であり, (15)) という。

(7) 反比例 $y = \frac{a}{x}$ のグラフは, 2つの曲線になり, この曲線を (16)) という。



データのダウンロードはこちらから！
(2020/10/5 19:30 から使用できます)